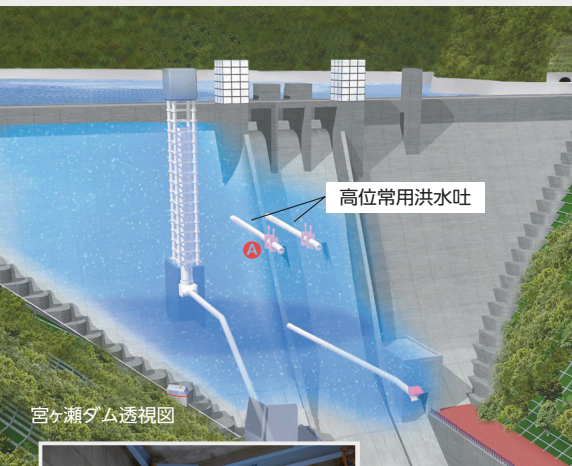


# 普段は入ることのできない 宮ヶ瀬ダムの内部を紹介!

見学者が自由に入れる見学用通路。この先には監査廊があり、見学用エレベーターで自由に往来できる。

あの巨大なダム。その内部は一体どのようなになっているのでしょうか？ 宮ヶ瀬ダムの巨大なコンクリート堤体の中には、水を流す洪水吐ゲートなどの他にも、安全に欠かせないさまざまな設備があります。これらの設備を点検するため、監査廊と呼ばれる通路が約2kmにわたり迷路のように張り巡らされています。施設管理員はこの監査廊を通じて、ダムの内部にあるゲートの操作室や計測室などを巡回し、日々の点検や管理を行っています。普段は入れないダムの内部ですが、毎年7月に行われる「森と湖に親しむ旬間」期間中の2日間だけ公開しています。今回は特別に、そのダム内部を少しだけ紹介します。



高位常用洪水吐

宮ヶ瀬ダム透視図

外の気温は30度。でも、ダムの中はひんやり涼しい〜！  
初秋とはいえ真夏日となった取材当日。普段は職員しか乗れない管理用エレベーターを降りて監査廊に入ると、ひんやりと少し肌寒いくらいの冷気に思わず身震い。外気との温度差から天井には水滴がびっしりついています。  
監査廊を進むと、オレンジ色の高位常用洪水吐の開閉装置（A）が姿を現しました。通常、出水時に水をここから放流しますが、

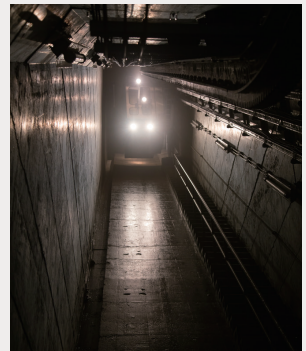


水をせき止めているゲートはこの下に

プラムライン



観光放流にも使用しています。暗い監査廊の向こうから、幻想的なライトが！ 4人乗りの点検用モノレールが登場。約2kmもある監査廊内の主に資材運搬作業の効率化を図るため、各箇所へボタン一つで行くことができます。  
宮ヶ瀬ダムは「重力式コンクリートダム」という構造で、ダム堤体の自重<sup>じじゆう</sup>によって、水圧などの外力に抵抗しています。ダムは温度の変化や水圧によって堤体が前後左右に動きます。この動きを「プラムライン」という計器で測定し、ダムの安全性をチェックしています。



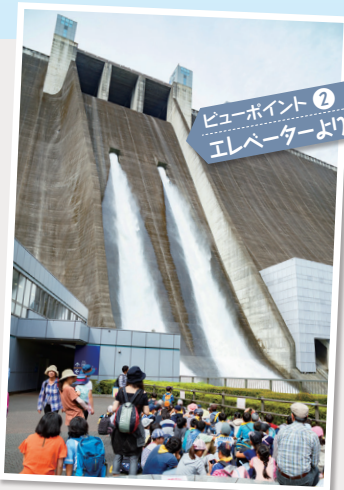
点検用モノレールがあるダムは珍しい

潜入! 宮ヶ瀬ダム



ビューポイント③  
新石小屋橋

少し離れた場所にあるポイントなので、迫力では他のビューポイントにかないませんが、宮ヶ瀬の美しい景色とともに観光放流を満喫することができます。



ビューポイント②  
エレベーターよりの堤体出口付近

まさに、ダムの真下。最も吐口に近いビューポイントがここです。上を見上げれば、まるで垂直にそびえ立っているかのような宮ヶ瀬ダムが迫ってきます。



ビューポイント①  
ダム堤体正面の橋の上

ダムを真正面から見られる観光放流の定番ビューポイント。放流されて落下する水が作り出す優雅なシルエットと、翼を広げたようなダム堤体が美しく調和します。ダムからの水しぶきが気持ちいいです!

ダムマニアが選ぶ第1位  
大人気ダムツアー

ここ数年、全国各地で既存のインフラや工事中のインフラを対象にした「インフラツーリズム」が大人気です。宮ヶ瀬ダムは全国のダムマニアが選んだダムランキングの第1位にも輝きました。

ダムの内部に入れるのは年に2日だけですが、ダム周辺はいつでも自由に見学が可能です。観光客以外にも体験学習で訪れた小学生たちなども見学に訪れています。特に4月から11月までは、1秒間に30mの放流が6分間続く観光放流が行われており、約70mの高さから流れ落ちるダイナミックな人工の滝から鳴り響く「ドドドドド」という水の音と、風圧の迫力を目の前で体感できます。ダム上部から観光放流のビュースポットまで降りる際には、無料のエレベーターの他、有料のインクライン<sup>※1</sup>も利用可能です。

※1 ダム建設工事中ダンプトラックを搭載し、コンクリートを運搬するために造られたもの。ダム建設後も一部を残し、堤体外部の点検や観光用として活用中。



ダムの高さと巨大さを実感できるインクラインの車窓からの眺め!



神奈川県にあるダムのダムカードと記念カード(写真上)と、宮ヶ瀬ダムと石小屋ダムのダムカード(写真下)

観光放流のスケジュール

【実施期間】

- 4月～11月(12月～3月は休止)
- 毎週水曜日、毎月第2第4金曜日
- 毎月第2日曜日、その他不定期日(イベント放流)

【実施時間】

- 午前 11:00～11:06
- 午後 2:00～ 2:06

愛ちゃん号



県立あいかわ公園



水とエネルギー館



ダムカレー

ひそかにブーム!  
ダムカレー&ダムカード

ダム最上部、インクライン山頂駐車場の目の前には、電気・水道・宮ヶ瀬湖周辺情報など、さまざまな情報を展示した体験型アミューズメント施設「水とエネルギー館」があります。水に関するエピソードを紹介する「水となかよしQ&A」や、ペダルをこいで発電する「水の力で発電!」など、そのほかにもダムや水資源に関することを学びながら楽しく遊べるアトラクションがたくさんあります。

館内にあるレイク・サイド・カフェでは、宮ヶ瀬ダム放流カレーが大人気! ダムに

見立てたご飯に刺さったウインナーを抜くと、カレーが放流されるという、見て食べて楽しいカレーです。

話題のダムカードも忘れずにゲット! 宮ヶ瀬ダムと石小屋ダム、2枚のダムカードがあります。全国にある統一デザインのダムカードは、配布開始から9年で111枚から500枚を超えるまでとなり、熱烈なコレクターも多いとか。各ダムのダムカードは、それぞれのダム管理事務所<sup>※2</sup>で無料配布中。記念カードは、あちこちのダムのイベントなどで配布されています。

隣接する県立あいかわ公園には、工芸工房村、アスレチック、ふわふわドームのある子供広場などレジャーも楽しめます。また、汽車の形がかわいいロードトレイン「愛ちゃん号」も公園内で運行しています。